

原作
色音者
脚本者
監督者

帝ネガ屋時代映畫

木村合
大森義
鍋本義
藤間林
松枝一郎
勝馬久氏
鶴太郎
勝馬久氏
氏

紹介

松枝鳩子娘マキノから帝キネに復歸して例の

如き勤王佐幕の争闘史を背誦にしたもののだけが、ほんの観

女侠お騒ぎで、物語は例に依つて例の

劇団出演挨拶で、物語は例に依つて例の

第一回公演挨拶で、物語は例に依つて例の

第二百十五回公演挨拶で、物語は例に依つて例の

第三百回公演挨拶で、物語は例に依つて例の

第四百回公演挨拶で、物語は例に依つて例の

第五百回公演挨拶で、物語は例に依つて例の

第六百回公演挨拶で、物語は例に依つて例の

第七百回公演挨拶で、物語は例に依つて例の

第八百回公演挨拶で、物語は例に依つて例の

第九百回公演挨拶で、物語は例に依つて例の

第十百回公演挨拶で、物語は例に依つて例の

第十一百回公演挨拶で、物語は例に依つて例の

第十二百回公演挨拶で、物語は例に依つて例の

第十三百回公演挨拶で、物語は例に依つて例の

第十四百回公演挨拶で、物語は例に依つて例の

第十五百回公演挨拶で、物語は例に依つて例の

第十六百回公演挨拶で、物語は例に依つて例の

第十七百回公演挨拶で、物語は例に依つて例の

第十八百回公演挨拶で、物語は例に依つて例の

第十九百回公演挨拶で、物語は例に依つて例の

第二十百回公演挨拶で、物語は例に依つて例の

第二十一百回公演挨拶で、物語は例に依つて例の